

小学校外国語活動における文字指導導入の試み

北條 礼子*・矢嶋 隆之**・高橋沙矢香**

1. 研究の背景

1.1 小学校外国語活動（英語）の現状

外国語活動（英語）は2011（平成23）年度より全国公立小学校の高学年5・6年生において、週1回年間35回程度正式に導入された。ただし、教科としてではなく、道徳と同様の領域扱いである。2010年7月から8月にかけてBenesse教育研究開発センターが実施した第2回小学校英語に関する基本調査（教員調査）結果によれば、2010年度に第5、6学年で外国語活動（英語）を実施している小学校はそれぞれ99.2%、99.6%であった。また、年間時数であるが、高学年は33.1時間であり、外国語必修化を目前にほとんどすべての全国公立小学校の高学年において設定されている年間35時間に近い時数で外国語活動が実施されていたことがわかった。さらに、同調査結果から、現在の外国語活動は音声中心であるが、文字を読むことについて、5年生では19.6%、6年生では36.4%の実施率であることが報告され、学年が上がるにつれて文字を扱う機会が増えていた。金谷（2006）は、小学校において児童が音声だけでなく多くの語彙に触れておくことが中学校における英語教育に役立つとしている。音声の学習だけではなく文字の導入をすることができれば中学校から始まる英語教育にスムーズに連携ができる可能性が考えられる。

1.2 文字指導について

文部科学省が作成し配布した『小学校英語活動実践の手引き』（2001）では、文字指導は推奨されていなかったが、新学習指導要領では、文字は「音声によるコミュニケーションを補助するものとして用いること」とされ、「英語ノート2」のレッスン1、2においてアルファベットや色々な文字が扱われている。筆者の私見であるが、教育の機会均等が外国語活動必修化の理由の一つであったにもかかわらず、現実的には、児童の英語力の格差が広がっている印象がある。小学校6年生でも、アルファベット26文字の大文字・小文字も不確かな児童がいる一方で、易しい英文を読み書きできる児童も存在している。英語嫌いを作らないための外国語活動の実施であるはずが、想像以上に英語に対して否定的な児童が増えている傾向がみられる。野呂（2007）は、小・中のスムーズな連携のために、小学校からの文字指導の必要性を指摘している。小・中連携以前に小学校において英語に苦手感を抱く児童を必要以上に増やさないためにも、文字指導を実施し、児童の不安感を低減する必要があるように感じられてならない。

1.3 これまでの出張授業の経緯

2006年秋から筆者が中心となり、大学院生、学部生、研究生が構成メンバーとなる、ティーム・ティーチング（TT）形式の英語の出張授業を本学附属小学校の協力の基、同校において実施している。2010年度は、3年生から6年生まで30分モジュール授業を約10回を実施し、フォニックスを活用した文字指導を実施した。なお、1、2年生では約3回の30分モジュールを3回実施し、1年生はアルファベットに大文字に、2年生ではアルファベットの小文字に触れる活動を行った。2010年度は、6年生において、初めて文字を書く活動を導入した。児童の負担感が強くないように、大学院生を中心とする授業者が、児童それぞれがピクチャーディクショナリーを作成するという活動を行った。本稿では、2010年度第6学年の外国語活動について紹介する。

* 上越教育大学大学院 ** 上越教育大学大学院生

1.4 2010年度第6学年の出張授業の指導計画

2010年度附属小学校出張授業の第6学年指導計画は表1に示すとおりである。

表1 2010年度附属小学校出張授業 第6学年指導計画

回	日にち	指導内容
1	10/22 (金)	アルファベットチャンツ (2文字母音)
		事前テスト
		ワードサーチ (2文字母音)
		ピクチャーディクショナリー (a～c)
2	11/ 5 (金)	チャンツ (sの音に子音がつく単語と子音にlの音がつく単語)
		フォニックス4級 (DVD6分, 寸劇+sm～pl + リズム)
		音の足し算 (リズム) の確認
		伝言ゲーム (sの音に子音がつく単語と子音にlの音がつく単語をつかって)
3	12/ 3 (金)	チャンツ (子音にrの音がつく単語と上級編の単語)
		フォニックス4級 (DVD4分, 子音にrの音がつく単語と上級編の単語+リズム+音の足し算)
		マッチングゲーム (sの音に子音がつく単語から上級編の単語をつかって)
		ピクチャーディクショナリー (g～i)
4	12/10 (金)	チャンツ (sの音に子音がつく単語から上級編の単語まで)
		フォニックス4級 (DVD6分, リズム+音の足し算+単語を読んでもみよう+フォニックス・コースターまで)
		ワードリスト (連続子音)
		ピクチャーディクショナリー (j～l)
5	12/17 (金)	チャンツ (フォニックス4級の復習)
		フォニックス3級 (DVD6分, 寸劇+2文字母音の歌まで)
		ゲーム (ワードサーチ)
		ピクチャーディクショナリー (m～o)
6	1/14 (金)	チャンツ (フォニックス3級 + ew)
		フォニックス3級 (DVD7分, 2文字母音の歌+トンネル+2文字母音の足し算まで)
		ゲーム (マッチングゲーム)
		ピクチャーディクショナリー (p～r)
7	2/ 4 (金)	チャンツ (フォニックス3級 + ew)
		フォニックス3級 (DVD8分, 2文字母音の足し算+Read the word +寸劇まで)
		ゲーム (ワードリスト?)
		ピクチャーディクショナリー (s～v)

8	2/25 (金)	チャンツ (フォニックス 3 級 + ew)
		フォニックス 3 級
		ゲーム
		ピクチャーディクショナリー (w ~ z)
9	3/ 4 (金)	事後テスト
		楽しい活動 (まとめ)

1.5 2010年度第 6 学年の出張授業 9 回の外国語活動案

2010年度第 6 学年の出張授業 9 回の外国語活動案は以下に示すとおりである。

① 第 1 回外国語活動案

1 題材名 「Phonics & Letters ー礼儀正しい 2 文字の母音の復習と小文字ー」

2 本時のねらい (1) 事前テストにより、既習事項の定着度をみる。

(2) フォニックスの復習をする。

(3) 文字を見て書けるようになる。

3 本時の展開 (30分間)

分	学習活動	指導・支援上の留意点・[評価]
2 分	1 始まりのあいさつをする。 Hello, everyone. My name is ○○. Please call me, ○○. Hello, everyone. (Hello, ○○.)	・楽しい雰囲気での活動を始められるように明るく挨拶する。(4 人全員で)
5 分	2 アルファベットチャンツをする。	・5 年時に学習した「礼儀正しい 2 文字の母音」をチャンツに取り入れる。
12 分	3 事前テストをする (quiz) ○単語のリスニングテスト ○単語と絵のマッチングテスト	・児童が理解しやすいように日本語で丁寧に説明し問題の番号も日本語で言う。 ・テストではなく、成績に関係のないことを伝える。 ・2 度繰り返して発音する際に「1 回目」「2 回目」と言って注意を促し、聞き漏らすことがないように支援する。
5 分	4 2 文字母音を使った単語探し。	・提示した単語を五つ数えるうちに見つける。 ・全員が起立し、提示された単語を見つけて丸で囲ったら座る。 ・ルールを理解しやすくするためにデモンストラーションを行う。
5 分	5 Let's make a picture Dictionary!	・a, b, c から始まる単語カードを 2 枚ずつ配る。 ・配られたカードを早く書き終える児童用に、他の単語カードも用意しておく。
1 分	6 終わりのあいさつをする。 Thank you, everyone. (Thank you, ○○.) See you next time. Bye!	・がんばったことを褒め、楽しい雰囲気での授業を終えられるようにする。

② 第2回外国語活動案

- 1 題材名 「Phonics & Letters - 2文字子音の復習と連続子音-」
- 2 本時のねらい (1) 2文字子音の発音をチャンツで復習する。
(2) 連続子音 (sm, sn, sk, st, bl, cl, fl, pl, sc, sp, gl, sl) を理解する。
(3) 文字を見て書けるようになる。
- 3 本時の展開 (30分間)

分	学習活動	指導・支援上の留意点・[評価]
1分	1 始まりのあいさつをする。 Hello, everyone. (Hello, ○○.)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気で活動を始められるように明るく挨拶する。(4人全員で) ・「2文字子音」を入れたチャンツを行う。 ・映像を観て、日本語との音の違いに気づかせる。 ・sm, sn, sk, st, bl, cl, fl, plの発音練習をする。 ・DVDに出てこなかった連続子音についても、練習する。 ・d, e, f から始まる単語カードを4枚ずつ配る。 ・白紙のおかわりカードを用意しておく。 ・がんばったことを褒め、楽しい雰囲気で授業を終えられるようにする。
5分	2 アルファベットチャンツをする。	
8分	3 「連続子音」のDVDを観る。	
10分	4 音の足し算の練習をする。	
5分	5 Let's make a picture dictionary!	
1分	6 終わりのあいさつをする。 Thank you, everyone. (Thank you, ○○.) See you next time. Bye!	

③ 第3回外国語活動案

- 1 題材名 「Phonics & Letters - 連続子音と文字-」
- 2 本時のねらい (1) 連続子音 (br, cr, fr, gr, dr, tr, thr, str, spr, pr, sw, tw) を理解し、発音に慣れる。
(2) 文字を見て書けるようになる。
- 3 本時の展開 (30分間)

分	学習活動	指導・支援上の留意点・[評価]
1分	1 始まりのあいさつをする。 Hello, everyone. (Hello, ○○.)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気で活動を始められるように明るく挨拶する。(4人全員で) ・前回学習した「連続子音」に加えて、(br, cr, fr, gr, dr, tr, thr, str, spr, pr, sw, tw)が入った単語をチャンツで練習する。 ・映像を観て、日本語と英語の音の違いに気付かせる。 ・br, cr, fr, gr, dr, tr, thr, str, sprの発音練習をする。 ・DVDに出てこなかった「連続子音」(pr, sw, tw)も発音を確認し、練習する。 ・2人のペアを作り、指示された単語をペアで協力して完成させる。
5分	2 「連続子音」のチャンツをする。	
7分	3 「連続子音」のDVDを観る。	

8分	4 ゲーム「カードを合わせて単語を完成させよう！」をする。	・指導者は、最初に絵だけを見せて、答え合わせの時に、絵と文字を一緒に見せる。 ・語頭の発音を繰り返してから単語を言うようにし、連続子音を意識できるようにする。 ・単語が完成したペアから座る。
8分	5 Let's make a picture Dictionary!	・制限時間を設ける。(5秒間) ・g, h, i から始まる単語カードを配る。 ・白紙のカードはおかわり用に用意しておく。
1分	6 終わりのあいさつをする。 Thank you, everyone. (Thank you, ○○.) See you next time. Bye!	・がんばったことを褒め、楽しい雰囲気です授業を終えられるようにする。

*参観者への依頼：picture dictionaryの活動の際に“h”と“n”がしっかりと書けているかのチェックをお願いします。今回は、ham, hose, honey, hungry の単語が登場します。

④ 第4回外国語活動案

- 1 題材名 「Phonics & Letters ー連続子音と文字ー」
- 2 本時のねらい (1) 「連続子音」(sで始まる単語～上級編)を理解し、発音に慣れる。
(2) 文字を見て書けるようになる。
- 3 本時の展開 (30分間)

分	学習活動	指導・支援上の留意点・[評価]
1分	1 始まりのあいさつをする。 Hello, everyone. (Hello, ○○.)	・楽しい雰囲気です活動を始められるように明るく挨拶する。(4人全員で)
3分	2 「連続子音」のチャンツをする。	・これまでに習った単語をチャンツで練習する。
7分	3 「連続子音」のDVDを観る。	・映像を観て連続子音の発音に慣れる。 ・速いリズムで発音練習をする。
10分	4 ゲーム「ワードリストを完成させよう！」をする。	・4人のグループを作り、①自分たちのワードリストに書き込む役、②黒板に貼ってあるワードリストを見に行き仲間へ伝える役を決め、順番に行う。 ・1回に覚える単語は一つとし、黒板のリストを見る時間は5秒間とする。 ・リストにはイラストを付けておき、文字を理解するための手助けとなるようにする。 ・使用する単語を黒板に貼っておき、単語を伝えたり、書いたりする際のヒントになるようにする。 ・語頭の発音を繰り返してから単語を言うようにし、英語らしい発音で相手に伝えられるようにする。
8分	5 Let's make a picture dictionary!	・j, k, l から始まる単語カードを配る。 ・白紙のカードはおかわり用に用意しておく。
1分	6 終わりのあいさつをする。 Thank you, everyone. (Thank you, ○○.) See you next time. Bye!	・がんばったことを褒め、楽しい雰囲気です授業を終えられるようにする。

*参観者への依頼：picture dictionaryの活動の際に、小文字 j，大文字 J の位置が正しく書けているか，チェックをお願いします。

⑤ 第5回外国語活動案

- 1 題材名 「Phonics & Letters ―二文字母音と文字―」
- 2 本時のねらい (1) 二文字母音 (au, aw, oi, oy, ou, ow, oo, oo + ew) を理解し，発音に慣れる。
(2) 文字を見て書けるようになる。
- 3 本時の展開 (30分間)

分	学習活動	指導・支援上の留意点・[評価]
1分	1 始まりのあいさつをする。 Hello, everyone. (Hello, ○○.)	・楽しい雰囲気で活動を始められるように明るく挨拶する。(4人全員で)
5分	2 「連続子音」のチャンツをする。	・前時までに学習した「連続子音」が入った単語13個を文字のみを示し，チャンツで復習する。
9分	3 「二文字母音」のDVDを観る。	・映像を観て，新しい母音について学習する。 ・ au, aw, oi, oy, ou, ow, <u>oo</u> , <u>oo</u> の発音練習をする。 ・ DVDに出てこなかった「二文字母音」(ew) も発音を確認し，練習する。
6分	4 ワードサーチゲームをする。 (二文字母音の単語を使って)	・ 以前したことのある活動なので，ルールなどを思い出せる程度に簡単に説明し，活動の時間を確保する。 ・ 提示した単語を五つ数えるうちに見つける。 ・ 全員が起立し，提示された単語を見つけて丸で囲ったら座る。 ・ 探す単語の絵と文字を提示し，児童が単語を探すときの手がかりになるようにする。
8分	5 Let's make a picture dictionary!	・ m, n, o から始まる単語カードを配る。 ・ 白紙のカードはおかわり用に用意しておく。
1分	6 終わりのあいさつをする。 Thank you, everyone. (Thank you, ○○.) See you next time. Bye!	・ がんばったことを褒め，楽しい雰囲気ですべてを終えられるようにする。

*参観者への依頼：picture dictionaryの活動の際に“h”の線と“l”が長く書けているかのチェックをお願いします。今回はmath, ostrich, とowl, oil, nailの単語が登場します。

⑥ 第6回外国語活動案

- 1 題材名 「Phonics & Letters ―2文字母音と文字―」
- 2 本時のねらい
(1) 「2文字母音」(au, aw, oi, oy, ou, ow, oo, oo, ew) を理解し，発音に慣れる。
(2) 文字を見て書けるようになる。

3 本時の展開 (30分間)

分	学習活動	指導・支援上の留意点・[評価]
1分	1 始まりのあいさつをする。 Hello, everyone. (Hello, ○○.)	・楽しい雰囲気での活動を始められるように明るく挨拶する。(5人全員で)
5分	2 「連続子音」・「2文字母音」のチャンツをする。	・「連続子音」の文字のみカード、前時に学習した「2文字母音」(au, aw, oi, oy, ou, ow, oo, oo, ew)が入った単語カードを提示し、チャンツで復習する。
7分	3 「2文字母音」のDVDを観る。	・映像を観て、2文字母音の発音について復習し、発音してみる。 ・DVDに出てこなかった「2文字母音」(ew)も発音を確認し、練習する。
8分	4 ゲーム「カードを合わせて単語を完成させよう!」をする。	・以前したことのある活動なので、ルール説明を簡単にし、活動時間を確保する。 ・2人のペアを作り、指示された単語をペアで協力して完成させる。 ・指導者は、最初に絵だけを見せ、時間が経過するごとに絵と文字の面を提示し、ヒントになるようにする。 ・2文字母音の発音を繰り返してから単語を言うようにし、意識できるようにする。 ・単語が完成したペアから座る。 ・制限時間を設ける。(5秒間)
8分	5 Let's make a picture dictionary!	・最初に気をつけたいポイントを示す。
1分	6 終わりのあいさつをする。 Thank you, everyone. (Thank you, ○○.) See you next time. Bye!	・p, q, rから始まる単語カードを配る。 ・がんばったことを褒め、楽しい雰囲気での授業を終えられるようにする。

*参観者への依頼：picture dictionaryの活動の際に“p”, “q”がしっかりと書けているかのチェックをお願いします。

⑦ 第7回外国語活動案

- 1 題材名 「Phonics & Letters -二文字母音と文字-」
- 2 本時のねらい (1) 2文字母音 (au, aw, oi, oy, ou, ow, oo, oo + ew) を理解し、発音に慣れる。
(2) 文字を見て書けるようになる。
- 3 本時の展開 (30分間)

分	学習活動	指導・支援上の留意点・[評価]
1分	1 始まりのあいさつをする。 Hello, everyone. (Hello, ○○.)	・楽しい雰囲気での活動を始められるように明るく挨拶する。(5人全員で)
3分	2 「2文字母音」のチャンツをする。	・前時までに学習した「2文字母音」の文字のみカードを掲示し、チャンツで復習する。
6分	3 「2文字母音」のDVDを観る。	・映像を観て、2文字母音の発音について復習し、発音してみる。

14分	4	ゲーム「ワードリストを完成させよう！」をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDに出てこなかった「2文字母音」(ew)も発音を確認し、練習する。 ・4人のグループを作り、黒板に貼ってあるワードリストを見に行き仲間伝える役を順番に行う。 ・残りの3人は、自分のワードリストに書き込む。(全員に、ワードリストを配布) ・使用する単語を黒板に貼っておき、単語を覚えたり、伝えたり、書いたりする際のヒントになるようにする。
5分	5	Let's make a picture dictionary!	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に気を付けるポイントを示す。前時の様子から、rの背の高さを意識できていない児童がいたので、今回のポイントとする。 ・s, t, uから始まる単語カードを配る。 ・白紙のカードはおかわり用に用意しておく。
1分	6	終わりのあいさつをする。 Thank you, everyone. (Thank you, ○○.) See you next time. Bye!	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばったことを褒め、楽しい雰囲気です授業を終えられるようにする。

*参観者への依頼：picture dictionaryの活動の際には、特に“r”が正しく書けているかのチェックをお願いします。今回、under, umbrella, umpireなどの単語が登場します。

⑧ 第8回外国語活動案

- 題材名 「Phonics & Lettersーフォニックスで読める文と文字ー」
- 本時のねらい (1) 今までに学習したフォニックスを使い、文を読んでみる。
(2) 文字を見て書けるようになる。
- 本時の展開 (30分間)

分	学習活動	指導・支援上の留意点・[評価]
1分	1 始まりのあいさつをする。 Hello, everyone. (Hello, ○○.)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気です活動を始められるように明るく挨拶する。(5人全員で)
3分	2 「マジックe」「2文字子音」「礼儀正しい母音」「連続子音」「2文字母音」がまざったチャンツをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵と文字のカードを掲示し、チャンツで復習する。チャンツ後も、このカードを掲示しておき、ゲーム時の手がかりになるようにする。
12分	3 ゲーム「文を読んでカラフル・ストーンを手に入れよう！」をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・4人のグループを作り、グループに文が書かれたカード24枚ずつ配る。 ・順番に、ジャッジ役のところに行き、文を読んで聞いてもらう。(9人のジャッジ役) ・ジャッジ役は、読めなかったところを教え、正しく読めたら、ストーンを渡す。 ・最初に1分間の練習の時間をとる。 ・残りの3人は、次の自分の番に備えて協力して練習をしておく。
3分	4 絵本を読もう。	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で、声を出して絵本を読んでみることでゲームで使われた文を復習する。

5分	5 Let's make a picture dictionary!	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に気を付けるポイントを示す。 (今回は, i と l) ・v, wからはじまる単語カードとxを含む単語カードを配る。 ・白紙のカードはおかわり用に用意しておく。 ・次回, picture dictionaryの整理と回収を行うので, 予告しておく。
1分	6 終わりのあいさつをする。 Thank you, everyone. (Thank you, ○○.) See you next time. Bye!	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばったことを褒め, 楽しい雰囲気です授業を終えられるようにする。

*参観者への依頼：picture dictionaryの活動の際には, 特に“i”と“l”, “n”と“h”が正しく書けているかのチェックをお願いします。今回, violin, whale, wineなどの単語が登場します。

⑨ 第9回外国語活動案

- 1 題材名 「Phonics & Letters ーフォニックスの復習と文字ー」
- 2 本時のねらい (1) 事後テストにより, 既習事項の定着度をみる。
(2) フォニックスの復習をする。
(3) 一人ひとりオリジナルのピクチャーディクショナリーを完成させる。
- 3 本時の展開 (30分間)

分	学習活動	指導・支援上の留意点・[評価]
1分	1 始まりのあいさつをする。 Hello, everyone. (Hello, ○○.)	・楽しい雰囲気です活動を始められるように明るく挨拶する。
3分	2 アルファベットチャンツをする。	・前時に学習した単語をチャンツで復習する。
10分	3 事後テストをする ○単語のリスニングテスト ○単語と絵のマッチングテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が理解しやすいように, 日本語で丁寧に説明し, 問題の番号も日本語で言う。 ・テストではなく, 成績に関係のないことを伝える。 ・2度繰り返して発音する際に, 「1回目」「2回目」と言って注意を促し, 聞き漏らすことがないように支援する。
13分	4 Let's make a picture dictionary!	<ul style="list-style-type: none"> ・y, zからはじまる単語カードを配布する。 ・これまで配布したカードをノートに貼り, 整理する。 ・すでに配布したカードのうち, 不足しているものがあれば配布する。 ・整理が終わった児童は, おかわりカードを追加したり, 空いているスペースに練習したりする。 ・児童のピクチャーディクショナリーを回収する。
2分	5 学習のまとめ	・学習のまとめとして, 賞状を渡す。
1分	6 終わりのあいさつをする。 Thank you, everyone. (Thank you, ○○.) Congratulations on your graduation! Bye!	・がんばったことを褒め, 楽しい雰囲気です授業を終えられるようにする。

引用・参考文献

Benesse 教育研究開発センター. 「英語教育について」. 2011年12月1日検索.

<http://benesse.jp/berd/center/open/report/syo-eigo/2010/index.html>

樋口忠彦他編. (2005). 『これからの小学校英語教育－理論と実践－』. 東京：研究社.

文部科学省. (2001). 『小学校英語活動実践の手引』. 東京：開隆堂出版.